あ

# 世 界 史 B 問 題

**はじめに，これを読みなさい。**

1. この問題冊子は22ページある。**ただし，ページ番号のない白紙はページ数に含まない。**
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか，受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい，解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は，すべて解答用紙の所定欄にマークするか，または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は，必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は，消しゴムできれいに消し，消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は，絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. **解答用紙はすべて回収する。**持ち帰らず，必ず提出すること。ただし，この問題冊子は，必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は60分である。
11. マーク記入例

| 良い例 | 悪 い 例 |
|---|---|
| ● | ◎ ⊗ ○ |

〔Ⅰ〕 次の文章を読み，下記の問に答えなさい。

中世のイスラーム世界では，アラブ人がもたらしたイスラーム教とアラビア語を核とし，古代オリエント文明やヘレニズム文明などの先進文明の文化遺産を母体として形成された融合文明が，都市を中心に発展した。

最初に発達した学問は，アラビア語の言語学と，『コーラン』の解釈に基づく神学や法学である。イスラーム法のことをアラビア語で［ ① ］と呼ぶが，これは人間が従うべき「道」を意味し，礼拝，断食，巡礼などの具体的な作法を定めた「儀礼的規範」と，結婚・離婚，相続，契約，刑罰などムスリムの世俗的な行為の規範としての狭義の「法的規範」に分かれる。イスラーム法では，預言者ムハンマドが神から授かった啓示の記録である『コーラン』こそが第一の法であった。しかし預言者の没後，イスラーム世界の拡大により，『コーラン』だけによって裁判を行うことが不可能となり，預言者の言行に関する伝承の記録である［ ② ］も典拠として法解釈が行われるようになった。その結果，法の体系化が試みられ，法学派が形成された。また［ ② ］の収集が熱心に行われたことにより，歴史学や伝記の発達が促された。

イスラーム世界の学問が飛躍的に発達したのは，アッバース朝時代の９世紀初め以後，首都バグダードを中心にギリシア語文献が組織的にアラビア語に翻訳されてからである。ムスリムは，ギリシアの医学，天文学，幾何学，光学，地理学などを学び，臨床，観測，実験によってそれらをさらに豊富で正確なものとした。またインドからも医学，天文学，数学を学び，とくに数学の分野で成果をあげた。

ムスリムによる㋐ギリシア哲学の研究からは，理性的判断を重視する神学や哲学が現れた。たとえば，ムワッヒド朝に仕えたスンナ派のイスラーム神学者・哲学者である［ ③ ］は，『宗教と哲学の調和』を著した。彼は，啓示を理性と調和的に解釈し，啓示された真理と哲学的真理の二重真理を主張した。イスラーム思想界は，８世紀ごろ以降，次第に，形式的な信仰を排し，神との一体性を求める［ ④ ］思想の影響を受けるようになった。

イスラーム文明は，民族による差別を否定し信者の平等を説くイスラーム教を

核とする普遍的文明であると同時に都市の文明であった。その担い手は商人，手工業者，知識人であり，また文化を保護したのはカリフやスルタンをはじめとする都市の権力者や富裕者であった。都市では，モスクにおいて礼拝が行われ，また㋑マドラサと呼ばれる学院において［　⑤　］と呼ばれる学者や知識人の養成が行われた。

㋒ムスリム商人は，アジア，アフリカ，西ヨーロッパにかけての東西交易で活躍し，イスラーム教を広める役割を果たしながら，都市において富裕階層を形成するとともに，文化の保護者としての役割を果たした。［　④　］は，一般の民衆に受け入れられやすかったため，イスラーム教の布教に大きな役割を果たした。やがてイスラーム文化は各地の地域的・民族的特色を加えて，㋓イラン＝イスラーム文化，トルコ＝イスラーム文化，インド＝イスラーム文化などを形成した。

ムスリムの子弟は，『コーラン』の暗記を終えたのち，すぐれた師を求めて各地のマドラサを巡礼し，法学，神学，哲学，歴史学などのイスラーム諸学を修得した。彼らは［　⑤　］となり，その後，法学者，裁判官，教師などとして政治的にも社会的にも重要な役割を果たした。また中世においてイスラーム世界は，ヨーロッパよりも文化的に先進的であったため，キリスト教国の子弟がイスラーム世界に留学することもあった。ヨーロッパでは，11～13世紀にかけてイベリア半島やシチリア島においてアラビア語版の古代ギリシア文献や，アラビアの科学や哲学の著作がラテン語に翻訳され，12世紀ルネサンスにつながっていくなど，㋔イスラーム文化はのちのヨーロッパ文化に対して大きな影響を与えた。

問 1　文中の空欄の①～⑤のそれぞれにもっとも適切な語句を解答欄に記入しなさい。

問 2　文中の下線部㋐～㋔に関して，下記の問(ア)～(オ)に答えなさい。解答は解答欄に記入しなさい。

(ア)　下線部㋐に関して，ギリシア哲学はヨーロッパよりもイスラーム世界においてよく保存され，とくにアリストテレス哲学の研究が盛んであった。中世ヨーロッパにおいて，その影響を受けて，キリスト教の信仰と理性との統合と調和をめざした学問を何というか。

(イ)　下線部㋑に関して，マドラサにおける教育研究は，農地や商業施設などの私有財産の所有者がそこから得られる賃料などの収益を運営費として寄進することにより成り立っていた。この財産寄進行為あるいは寄進された財産を何というか。

(ウ)　下線部㋒に関して，アイユーブ朝およびマムルーク朝時代，ムスリム商人のあるグループが，カイロやアレクサンドリアを拠点に地中海，紅海，インド洋の香辛料交易に広く活躍し，通商による利益でモスクや学院を建設し，イスラーム文化を保護した。この商人のグループを何というか。

(エ)　下線部㋓に関して，イル＝ハン国の政治家ラシード＝アッディーンがペルシア語で著した，モンゴル史を中心とする歴史書を何というか。

(オ)　下線部㋔に関して，製紙技術は，751 年のアッバース朝と唐との戦いにおいて捕虜となった紙漉き工を通じてイスラーム世界に伝えられ，その後 12 ～ 13 世紀ごろにヨーロッパに広まった。このアッバース朝と唐との戦いを何というか。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み，下記の問に答えなさい。

アフリカにおける奴隷貿易は，中世以来，ムスリム商人の手によって行われていた。彼らは，マリンディ，モンバサ，ザンジバル，キルワなどの海港都市を拠点とし，アラビア語で「海岸地帯に住む人々」を意味する［ ① ］語を共通言語として，黒人のほか象牙などの取引をした。これは，インド洋交易の一環として，アフリカ東海岸で行われた。他方で，ポルトガル人によるアフリカ西海岸の探検と，スペイン人による西まわり航路の開拓以降，ヨーロッパ諸国による大西洋ルートの奴隷貿易が行われるようになった。とくに，16世紀から19世紀にかけて，ヨーロッパ商人がアフリカ西海岸において黒人を獲得し，アメリカ大陸やカリブ地域などに奴隷として売却した。

アフリカ西海岸において奴隷貿易をさかんに行ったのは，この地域に拠点をもったポルトガル，フランス，イギリスであった。これらヨーロッパ諸国のいわゆる奴隷貿易都市から，武器や綿製品，雑多な工業製品を積んだ船がアフリカ西海岸にある黒人国家に向かい，そこで積み荷と奴隷が交換された。黒人国家の中には，アフリカの奥地で奴隷狩りを行い，ヨーロッパ諸国に売り渡すものも出現した。たとえば，現在のナイジェリアを中心に13世紀から18世紀にかけて栄えた［ ② ］王国である。アフリカから強制的に連行された奴隷は千数百万人にのぼるといわれ，貴重な労働力を奪われたアフリカ社会は，その後の社会経済の発展を阻害され，深刻な打撃を被った。奴隷はアフリカからアメリカ大陸やカリブ地域へ運ばれた。このいわゆる中間航路の航海は過酷を極めた。奴隷船の多くは，多数の奴隷を輸送するために通常の商船を改造したもので，その船倉に無理に詰め込まれた奴隷は，栄養失調やチフスなどの感染症に罹患して死に至ることも少なくなかった。

アメリカ大陸などに送り込まれた奴隷は，サトウキビ，タバコ，綿花などのプランテーション経営者にとっては大きな労働力となった。また，ラテンアメリカでは奴隷が住むことで，新たな人種的身分社会が形成された。すなわち，本国生まれの白人「ペニンスラール」および植民地生まれの白人「クリオーリョ」を支配層とし，白人と先住民との混血「メスティーソ」，白人と黒人との混血「［ ③ ］」，黒人奴隷，先住民を被支配層とする階層秩序が存在した。

奴隷は，アメリカ大陸やカリブ地域で砂糖，綿花，タバコ，コーヒーなどと交換され，奴隷と交換された砂糖などはヨーロッパに送られた。ヨーロッパでは，コーヒーや紅茶に砂糖を入れて飲む習慣が生まれ，砂糖の消費が増加した。(ウ)たとえばイギリスでは，上流階級の女性の間で砂糖入りの紅茶が楽しまれ，やがてアフタヌーンティーの習慣をもたらした。イギリスは，この一連の大西洋三角貿易を基盤として，カリブ海や北アメリカ大陸を核とする広大な世界帝国を完成させたことで，貿易による莫大な利益を得ることができ，産業革命の礎を築いた。他方，北アメリカ大陸はイギリス製品の市場となり，その原材料となる綿花などの供給地となったが，ここに(エ)定着した黒人は，奴隷制が廃止された後も，激しい人種差別にさらされた。

19世紀後半には，リヴィングストンが奴隷貿易の根絶およびキリスト教の宣教を目的にアフリカ大陸南部を探索し，またスタンリーがコンゴ川流域を探検してその経済的重要性を指摘したことにより，ヨーロッパ諸国の関心はアフリカ沿岸部にとどまらず，内陸部にも向けられることになった。とくに，ベルギーおよびドイツの動きをきっかけとして，いわゆる「アフリカ分割」が激化した。ベルギーは，国王であった [ ④ ] がコンゴ川流域の領有を目指して積極的な進出を行い，ポルトガルなどの反発を招いた。そのため，(オ)ドイツ帝国宰相ビスマルクの提唱により1884年から85年にベルリン＝コンゴ会議が開催され，利害の調整と対立の収拾が図られた。しかし，その結果，最初に支配を及ぼした国に先占が認められることになり，また，ビスマルクが失脚し，ヴィルヘルム2世が世界政策を推進したために，分割競争は一層進むこととなった。

これに対し，アフリカの現地民は，地域の自立や文化を守るべく抵抗運動を起こし，このことは，やがて民族主義運動や民族解放運動に至った。たとえば，「エジプト人のためのエジプト」をスローガンとして武装蜂起したエジプト最初の民族運動であるウラービー運動がある。しかしこれは，1882年にイギリス軍に鎮圧され，エジプトはイギリスの事実上の保護国となった。イギリスは，さらに南下政策を進め，スーダンをエジプト支配下に置いた。これに対して，イスラームの宗教指導者ムハンマド＝アフマドに率いられた宗教運動でありイギリス＝エジプト連合勢力との闘争である [ ⑤ ] 運動が起こった。

問１　文中の空欄の①～⑤のそれぞれにもっとも適切な語句を解答欄に記入しなさい。

問２　文中の下線部㋐～㋔に関して，下記の問(ア)～(オ)に答えなさい。解答は解答欄に記入しなさい。

(ア)　下線部㋐に関して，黒人奴隷の労働力を必要としたスペインは，アフリカに植民地を持たなかったため，ポルトガル，フランス，イギリスなどの外国商人や商社との間で，スペイン領アメリカに対する奴隷供給請負契約を締結した。この契約を何というか。

(イ)　下線部㋑に関して，18 世紀には奴隷貿易を中心に大西洋三角貿易の拠点として，また産業革命期にはマンチェスター産の綿製品の輸出で繁栄し，のちにザ・ビートルズを生んだ都市の名前を何というか。

(ウ)　下線部㋒に関して，17 ～ 18 世紀を中心としてフランスで流行した社交場で，貴族や上流階級の女性などにより貴族の館で開催され，文人，学者，芸術家らが文化や思想について議論した場のことを何というか。

(エ)　下線部㋓に関して，アメリカ合衆国の奴隷制度をめぐって 1861 年に南北戦争が起こったが，同戦争最大の激戦地で，かつ，その追悼式典でリンカンが「人民の，人民による，人民のための政治」というアメリカ民主主義を象徴する言葉を残した町の名前を何というか。

(オ)　下線部㋔に関して，かかる会議の結果として，アフリカはヨーロッパ諸国に武力で制圧され，ほぼ全域が植民地となった。アメリカ合衆国の解放奴隷の入植によりギニア湾岸の西部地域に建国され，この状況下で独立を維持した国の名前を何というか。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み，下記の問に答えなさい。

季節風貿易により，7～8世紀ごろから東南アジアは東西交易(ア)の拠点の一つとして発展した。その後も東南アジアにおける交易は活発化していった。15世紀には香辛料や錫などの産品の需要が高まり，その輸出入の拠点として多くの港市が形成された。

15世紀ごろ，東南アジアにおいてとくに繁栄した港市国家の一つとして，マラッカ王国が挙げられる。マラッカ王国は，スマトラ出身の王族によって14世紀末または15世紀初頭にマレー半島に建国されたといわれる。マラッカ王国は，建国の初期から明(イ)の保護を受けた。中国では宋代以降，大型の［　①　］船や羅針盤の発明などを筆頭に造船・航海技術が発展し，明代には鄭和が1405年から1433年の間に7回の南海遠征を行った。この遠征と関連してマラッカ王国が明の忠実な朝貢国となったことが，保護のきっかけであった。マラッカ王国は，明の保護によりアユタヤ朝の干渉を取り除いた。そして，鄭和の遠征隊との貿易や西方のイスラーム世界との貿易により商業活動を発展させつつ勢力を強め，ジャワ島中東部を16世紀初めごろまで支配していた［　②　］朝を侵略し衰退させるほどになった。マラッカを介した西方との貿易は，この地域とムスリム商人との交流を増加させた。東南アジアはすでにさまざまな宗教の流入のあった地域であるが，この交流によりイスラーム教が東南アジア島嶼部に広く普及するようになり，そのことが東南アジア地域におけるさらなる宗教の多様性(ウ)につながっていった。マラッカ王国は，インド総督アルブケルケの率いるポルトガルによって1511年に征服された。そこから逃れたマレー人の王族が，マレー島南部にジョホールを建設し，これもまた港市として栄えた。

ポルトガルによるマラッカの征服後，アジア商人は，高い関税などを理由に同地域の利用を避けるようになった。その代わりに北スマトラのアチェ，西ジャワの［　③　］，マレー半島南部のジョホールなどの港市が利用されるようになる。とくに［　③　］の繁栄は，アジア商人が，スマトラ島南東部とジャワ島西部の間に位置する海峡を抜けてインド洋からジャワ海に入る交易ルートを開拓したことによるところが大きい。ジャワ島ではこの他に，16世紀後半ごろ，中部

のスラカルタにパジャン王国，東部のジョクジャカルタにマタラム王国という二つの農業国家が台頭した。マタラム王国はパジャン王国を併合した後，1625年にはジャワ島北岸の港市スラバヤを陥落させた。マタラム王国は，主にジャワ内陸部産の米の交易により繁栄し，17世紀後半には，［③］やバタヴィアといった西部の地域を除き，ジャワ島のほぼ全域を支配するに至った。

17世紀は，欧州列強が東南アジアへの介入を強めていった時期でもある。たとえば，オランダ東インド会社は，総督クーンのもとでジャワ島西部のジャヤカルタを1619年に占領し，バタヴィアとして同会社の拠点を築いた。さらにオランダは，1623年のアンボイナ事件によりイギリスを東南アジアの香辛料貿易から締め出し，1641年にはポルトガルからマラッカを奪った。17世紀には，オランダが東南アジアにおける支配を優位に進めた一方，イギリスはその活動の中心を(エ)インドに移していった。

しかし18世紀後半になると，東南アジアにおけるイギリスの影響力も高まっていく。1786年，イギリスはマレー半島北部西岸のケダ王国に［④］を割譲させ，植民都市を建設した。その後，1795年のマラッカ占領，(オ)1811年から1816年の一時的なジャワ島占領を経て，1824年にはイギリス＝オランダ協定が成立した。この協定により，オランダはスマトラ島とジャワ島を勢力圏とする一方，イギリスはマレー半島を勢力圏とし，1826年には［④］，マラッカ，シンガポールを海峡植民地とした。

オランダはすでに18世紀初めには，マタラム王国の内紛に介入しジャワ島における支配力を強めていた。ジャワ島の支配権がイギリスからオランダに戻った後，オランダの支配に反対する機運が高まり，マタラム王国から分立したジョクジャカルタのディポネゴロ王子が中心となり，ジャワ戦争が起こされた。この戦争は1830年に鎮圧され，当時の東インド総督であった［⑤］によりジャワ島に強制栽培制度が導入された。これをもってオランダによるジャワ島の支配は決定的となった。北スマトラにおけるアチェ戦争にみられるように，オランダは19世紀半ば以降ジャワ島以外でも植民地支配を強化していった。

問 1　文中の空欄①～⑤のそれぞれにもっとも適切な語句を下記の語群から一つずつ選び，その記号を解答欄にマークしなさい。

〔語　群〕

| | | | |
|---|---|---|---|
| A | カラベル | B | ファン＝ボイ＝チャウ |
| C | カリカット | D | ラタナコーシン |
| E | ボルネオ | F | チャンパー |
| G | マニラ | H | 亀甲 |
| I | マジャパヒト | J | ガレオン |
| K | ファン＝デル＝カペレン | L | タウングー |
| M | パレンバン | N | ダウ |
| O | ラッフルズ | P | バンテン |
| Q | ガレー | R | マドラス |
| S | ファン＝デン＝ボス | T | シンガサリ |
| U | スラウェシ | V | ペナン |
| W | シャイレンドラ | X | ファン＝ダイク |
| Y | ジャンク | Z | クディリ |

問 2　文中の下線部㋐～㋔に関して，下記の問(ア)～(オ)に答えなさい。解答は各問の選択肢の中からもっとも適切なものを一つ選び，その記号を解答欄にマークしなさい。

(ア)　下線部㋐に関して，東西交易に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

〔選択肢〕

A　唐代の広州にはムスリム商人が来航し，海上貿易を担当する市舶司と，外国人居留地である蕃坊が置かれた。

B　中国から中央アジアを経由して地中海東岸のアンティオキアやカイロに至る「草原の道」は，ムスリム商人の主要な交通路であった。

C　朱印船貿易により，東南アジアの諸地域に日本人が渡るようになり，マニラやアユタヤなどに日本町が形成された。これらの町は徳川幕府の鎖国政策の終焉まで隆盛を誇った。

D　清の乾隆帝の治世には，外国貿易は深圳の一港に限定され，広東十三行(公行)と呼ばれる特許商人により独占された。これにより，清朝側に貿易赤字が生じた。

E　フランスは，財務長官リシュリューの重商主義政策のもと17世紀半ばに東インド会社を再建し，インド貿易における主導権をイギリスと争った。

(イ) 下線部㋑に関して，明に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

〔選択肢〕

A　江南の富裕な地主出身の朱元璋は，紅巾の乱を鎮圧し，1368年に明朝をたて，年号を洪武，首都を北京とした。

B　土木の変により英宗がモンゴル勢力の捕虜となった。その後，万里の長城の大規模な修築が行われた。

C　洪武帝の治世に，魚鱗図冊と呼ばれる租税台帳や，賦役黄冊と呼ばれる土地台帳が作成され，政府は人民の情報を把握することに努めた。

D　明代には，「四大奇書」と呼ばれる『三国志演義』，『水滸伝』，『西遊記』，『紅楼夢』が生まれた。

E　呉三桂は，農民反乱軍を率い首都北京を陥れ，1644年に明を滅亡させたが，この反乱軍はまもなく清に鎮圧された。

(ウ) 下線部ⓦに関して，東南アジアの宗教に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

〔選択肢〕

A　7世紀にスマトラ島東南部に台頭したシュリーヴィジャヤ王国の支配者は上座部仏教を信奉していた。この地の上座部仏教は，義浄を筆頭とする唐僧から伝わった。

B　12世紀のカンボジアにおいて，クメール王国(アンコール朝)により仏教寺院としてアンコール＝ワットが建造されたが，のちにヒンドゥー教寺院として用いられた。

C　13世紀半ばにタイ北部に興ったスコータイ朝の王族はヒンドゥー教を信仰しており，同王朝も東南アジア大陸部の「インド化」の影響を受けていた。

D　スペイン王の勅令により定められたアシエンダ制は，フィリピンへの入植者が，先住民のキリスト教への改宗と保護を条件に，先住民を労働力として使役することを認めていた。

E　1802年に阮福暎がベトナムを統一して成立した阮朝は，19世紀前半にキリスト教を弾圧する政策に転じ，これがフランスによるベトナムへの介入の要因となった。

(エ) 下線部㋓に関して，インドにおける植民地支配に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

〔選択肢〕

A　フランス東インド会社は，ポンディシェリとシャンデルナゴルに領地を有していたが，1763年のパリ条約により，フランスはインドの植民地をすべて失った。

B　ベンガル出身のラーム＝モーハン＝ローイは，サティーをはじめとするヒンドゥー教の伝統的風習の廃止を主張した。これを受け，イギリス植民地政府は19世紀前半にサティーを禁止した。

C　イギリス東インド会社は，政府と農民との間の仲介者であるライヤットに私的な土地所有権を与え，徴税を委任するライヤットワーリー制をインドに導入した。この制度により，土地の権利者がライヤットに一元化された。

D　パンジャーブ地方のマイソール王国が中心となり，18世紀後半に4度にわたるマイソール戦争が起こされたが，イギリスにより制圧された。

E　イギリスは，1858年にイギリス東インド会社を解散させ，その後インド帝国を成立させた。同帝国の建国時，ヴィクトリア女王がインド皇帝を兼ね，旧ムガル帝国皇帝を副王の地位に置いた。

(オ) 下線部㋔に関して，ヨーロッパにおいてこの期間に起きた歴史上の出来事を時系列に沿って正しく並べているものはどれか。

〔選択肢〕

A　ライプツィヒの戦い→ワーテルローの戦い→ルイ 18 世の即位(第一次王政復古)→ウィーン会議

B　ワーテルローの戦い→ライプツィヒの戦い→ルイ 18 世の即位(第一次王政復古)→ウィーン会議

C　ライプツィヒの戦い→ルイ 18 世の即位(第一次王政復古)→ワーテルローの戦い→ウィーン会議

D　ワーテルローの戦い→ルイ 18 世の即位(第一次王政復古)→ライプツィヒの戦い→ウィーン会議

E　ライプツィヒの戦い→ルイ 18 世の即位(第一次王政復古)→ウィーン会議→ワーテルローの戦い

〔Ⅳ〕 次の文章を読み，下記の問に答えなさい。

19世紀後半，ナポレオン3世を皇帝とする第二帝政を成立させたフランスは，内戦状態にあったメキシコに介入し，［ ① ］をメキシコ皇帝につけて傀儡政権を樹立した。しかし，メキシコ国民の幅広い支持を集めることはできず，またアメリカの反発を招いたために，フランスはメキシコから撤退した。その後，メキシコ皇帝は捕らえられ銃殺刑に処せられた。この出来事はフランス社会にも衝撃を与え，印象派の先駆者と呼ばれる画家の［ ② ］は，その無残な処刑の様子を作品に残している。その後，フランスの影響下から脱した⑦メキシコは徐々に内戦を収拾させていった。

同じくフランスで活躍し，代表作『女の一生』で知られる自然主義の作家［ ③ ］はプロイセンとの戦争に加わり，その経験から『脂肪の塊』を著し，作家としての名声を確立した。この戦争は，フランスが大敗を喫し，1870年には元首であるナポレオン3世自身が捕虜にされたことでフランス国民に大きな衝撃を与えた。ナポレオン3世の降伏が伝わると，パリでは共和派を中心にして臨時政府が樹立され帝政は崩壊した。その後もプロイセンとの戦争は続いたが，戦局が好転しないまま休戦となり，フランスは事実上敗北した。しかし，臨時政府が不利な条件での講和を結ぶことがわかると，パリ市民は蜂起し，自治政府であるパリ＝コミューンを樹立してこれに抵抗した。のちに第三共和政の初代大統領となる［ ④ ］は，ビスマルクの支援も受けながら，パリ＝コミューンの排除を決定し，多数の犠牲者を出しながらもこれを鎮圧した。

およそ70年の長きにわたって存続したフランス第三共和政であったが，ドイツへの報復の機運が高まるなか不穏な空気に包まれることもあった。とくにユダヤ系のフランス軍大尉が，ほとんど証拠がないにも関わらずドイツのスパイであるとの嫌疑をかけられ終身刑の判決を受けた①ドレフュス事件は，ヨーロッパ社会における反ユダヤ主義の高まりを象徴するとともに，第三共和政の不安定さをも示す出来事であった。この事件が冤罪であるとして再審を求める運動が盛り上がりをみせると，他方でユダヤ人に対する迫害事件も各地で発生し，ドレフュスが恩赦により釈放され，それに続いて無罪判決が出されるまで，騒動は続いた。

フランスは，ビスマルクの政策によって国際的に孤立させられていたが，1890年にビスマルクが宰相を辞任しドイツが外交政策を転換すると，露仏同盟や英仏協商(ウ)を結んで外交関係の強化を図りドイツに対抗しようとした。さらにドイツへの警戒心から英露も協商を結び三国協商へと至ったが，これらの動きはのちの第一次世界大戦の構図につながる。第一次世界大戦まで大きな戦争のなかったこの時代は，産業革命もあいまって経済が大きく発展したが，これによって大量消費，大衆文化がさかんになったこともあり，フランス語で「良き時代」を意味する「ベルエポック」と呼ばれた。

1914年にオーストリア＝ハンガリー帝国の帝位継承者夫妻がサライェヴォで暗殺されたことに端を発した第一次世界大戦は，これまでの戦争と異なり，長期戦かつ総力戦の様相を呈し，甚大で悲惨な被害をヨーロッパにもたらした。そのときたまたまスイスに滞在していた，小説『ジャン・クリストフ』で知られ1915年度のノーベル文学賞受賞者でもある作家の［ ⑤ ］は，国際社会に対して反戦と平和を訴えた。彼は，ドレフュス事件の時にはドレフュスの擁護に尽力し，第一次世界大戦後には反ファシズムのための活動に従事するなど，生涯にわたって国際平和を希求した。第一次世界大戦では，当事国のみならず植民地の住民までもが動員された。この戦争は，各地にその後の独立運動の種を蒔きつつ，ドイツ皇帝ヴィルヘルム2世のオランダ亡命とドイツの降伏によって幕を閉じた。戦後，連合国とドイツの間でヴェルサイユ条約が結ばれるなど，戦勝国と敗戦国(エ)の間で講和条約が結ばれて新しい国際秩序が形成された。しかし，敗戦国のドイツのみならず戦勝国のイタリアでも不満が募り，ヨーロッパに広がる労働運動や革命の影響を受けながらファシズム国家(オ)が誕生していった。第一次世界大戦と戦後体制が，のちに人類史上例を見ない災禍を生み出すことになる第二次世界大戦への道を舗装していったともいうことができる。

問 1　文中の空欄①～⑤のそれぞれにもっとも適切な語句を下記の語群から一つずつ選び，その記号を解答欄にマークしなさい。

〔語　群〕

A　ボードレール
B　セザンヌ
C　フランツ＝ヨーゼフ１世
D　フロベール
E　ピサロ
F　バルザック
G　フォール
H　ルイ＝フィリップ
I　クレマンソー
J　ペドロ１世
K　フリードリヒ３世
L　ティエール
M　ヨーゼフ２世
N　ルイ＝ナポレオン
O　ロラン
P　マネ
Q　ユーゴー
R　マクシミリアン
S　モネ
T　モーパッサン
U　カール１世
V　ルノワール
W　ルイ＝ブラン
X　マラルメ
Y　プルードン
Z　ドガ

問 2　文中の下線部㋐～㋔に関して，下記の問(ア)～(オ)に答えなさい。解答は各問の選択肢の中からもっとも適切なものを一つ選び，その記号を解答欄にマークしなさい。

(ア)　下線部㋐に関して，メキシコの政治に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

〔選択肢〕

A　アメリカ合衆国のウィルソン政権はメキシコ革命に軍事介入したが，メキシコの抵抗を受けた。その後 1917 年にメキシコは，土地改革，政教分離，労働基本権などを定めた憲法を制定した。

B　メキシコ領テキサスにアメリカ合衆国から多数の移民が送り込まれたことをきっかけに，1846 年にアメリカ＝メキシコ戦争が勃発した。その後，テキサスはアメリカ合衆国の州となった。

C　フアレスの死後に成立したディアス政権は，独裁色を強めたためメキシコ革命によって 1911 年に倒された。革命を率いた自由主義者マデロや農民指導者サパタが相次いで大統領に就任したが，革命の方向性をめぐって政変が絶えなかった。

D　アメリカ＝メキシコ戦争に敗れたメキシコでは，アメリカ合衆国によって要求されたレフォルマ(大改革)が実行された。改革の方向性をめぐって自由主義派と保守派に分かれ，内戦状態に至った。

E　フアレスの政権は，教会の土地所有を回復するなど，保守派からの支持を集めた。また，フランスの介入を排してメキシコ皇帝の処刑を行った。

(イ) 下線部㋑に関して，第三共和政期のフランスに関する次の記述のうち正しいものはどれか。

〔選択肢〕

A　陸軍大臣を務め人気の高かったブーランジェ将軍は，ドイツへの復讐や憲法改正を唱えて急進派の支持を集め，1889年に選挙に勝利して一時期政権を握った。しかし軍事クーデタの失敗により急激に勢いは衰えた。

B　1881年のロシア皇帝ニコライ1世暗殺をきっかけに，社会の不満がユダヤ人に向けられ，フランス国内でも「ポグロム」と呼ばれる集団暴行や虐殺が起きた。この事件をきっかけに，ヘルツルはユダヤ人国家建設を目指すシオニズム運動を始めた。

C　『悪の華』で知られる作家ゾラは，ドレフュス事件でドレフュスを擁護し，「私は弾劾する」との公開書簡を発表したが，イギリスへの亡命を余儀なくされた。

D　1875年に制定された共和国憲法は，三権分立や二院制とともに，任期7年の大統領制を定めた。これによって確立した第三共和政は，第二次世界大戦でフランスがドイツに降伏し，ペタンを国家元首とする政権が成立したことにより，崩壊した。

E　労働組合のゼネストによって社会革命を目指すサンディカリズムに立つ労働者たちは社会革命党を結成した。その後サンディカリストは，第2インターナショナルの方針に沿って，フランスの社会主義諸派を統一してできたフランス社会党と合流した。

(ウ) 下線部ⓌⓌに関して，1904年に結ばれたこの協商の内容の説明として正しいものはどれか。

〔選択肢〕

A　イギリスのタンザニアにおける優位とフランスのカメルーンにおける優位を互いに認め合った。

B　イギリスのタンザニアにおける優位とフランスのモロッコにおける優位を互いに認め合った。

C　イギリスのエジプトにおける優位とフランスのカメルーンにおける優位を互いに認め合った。

D　イギリスのエジプトにおける優位とフランスのモロッコにおける優位を互いに認め合った。

E　イギリスの南アフリカにおける優位とフランスのモロッコにおける優位を互いに認め合った。

(エ) 下線部㋓に関して，これらの条約とその後に形成された国際秩序に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

〔選択肢〕

A　ムスタファ＝ケマルの主導による革命で成立したトルコ共和国は，セーヴル条約を結んだものの，議会に批准を拒否されたため，改めてローザンヌ条約を結んで近代国家としての基礎を固めていった。

B　ドイツは，徴兵制の維持は認められたが，戦車，航空機，潜水艦の保有の禁止，多額の賠償金の支払い，植民地の一部放棄などの厳しい義務を負わされた。

C　国際連盟はアメリカ合衆国大統領の提案をきっかけに創設されたが，アメリカ合衆国は議会上院がヴェルサイユ条約の批准を否決するなどしたため，最後まで国際連盟に加盟することがなかった。

D　国際連盟には総会，理事会，事務局のほかに，国際労働機関，常設国際司法裁判所，国際刑事裁判所が付置され，これらの機関は労働者の保護や国際的な紛争を処理する役割を果たした。

E　国際連盟は，当初はソヴィエト＝ロシアやドイツを排除して発足したが，その後ヨーロッパで国際協調の機運が高まると，ロカルノ条約とケロッグ・ブリアン条約によって両国の加盟が認められた。

(オ) 下線部㋔に関して，ファシズム国家および周辺国とその文化人の活動に関する次の記述のうち正しいものはどれか。

〔選択肢〕

A　ドイツは，チェコスロヴァキアからズデーテン地方を割譲されると，さらに1938年にオーストリアを併合した。ウィーンを拠点として活動し，深層心理の解明を目指す精神分析学を確立したユダヤ人精神科医のフロイトは，ウィーンを離れイギリスに亡命した。

B　理論物理学者のアインシュタインは，ナチス政権が成立するとアメリカ合衆国に亡命した。アインシュタインは，第二次世界大戦後は哲学者のラッセルとともに核兵器廃絶運動を展開し，核廃絶や科学者の責任を考えるパグウォッシュ会議にも大きな影響を与えた。

C　スペイン内戦では，ドイツとイタリアがフランコを支援する一方で，イギリスとフランスは不干渉の立場をとった。そのため，『誰がために鐘は鳴る』で知られるアメリカ人作家オーウェルや，『カタロニア讃歌』で知られるイギリス人作家ヘミングウェイといった2人のノーベル文学賞受賞者を含む各国の民間人が，国際義勇軍を組織して政府側を支援した。

D　『異邦人』で知られる作家カミュは，ドイツでユダヤ人排斥を唱えるナチス政権が成立すると，自身はユダヤ人ではなかったが，ファシズムに抗議してアメリカ合衆国に亡命し，その後も民主主義を擁護する活動を行った。

E　フランコが率いる軍部のクーデタによりスペインで内戦が勃発すると，フランコに批判的だった画家のピカソは，バスク地方の町ゲルニカへの爆撃に抗議して「ゲルニカ」を描いた。フランコは内戦に勝利すると総統に就任し，第二次世界大戦に敗北するまでの間独裁政治を行った。